

【様式1】 CAN-DO LIST 2025

学校名:	錦江湾高等学校	高等学校	大学科:	理数科
科目名:	論理・表現Ⅲ		学年	3年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価 時期・方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 ☐	自分の考えや気持ち, 意見などを伝え合うことができる。	6	単元末テスト・インタビューテスト	2学期	ア
	SI2 ☐	相手の話す内容が理解できない場合には, 聞き返したりして確認することができる。	11	単元末テスト・ディスカッション	2,3学期	ア
	SI3 ☐	日常的な話題や社会的な話題について, 多様な語句や文を用いて, やり取りすることができる。	12	単元末テスト・ディスカッション	3学期	イ
Speaking Presentation	SP1 ☐	多様な語句や文を用いて, 自分自身のことについて紹介することができる。	1,8	プレゼンテーション	1学期	ア
	SP2 ☐	あるテーマやトピックについて, 自分の意見や主張などを詳しく話して伝えることができる。	1,2,7	プレゼンテーション	1,2学期	ア
	SP3 ☐	日常的な話題や社会的な話題について, 複数の資料を活用しながら, 情報や考え, 気持ちなどを詳しく伝えることができる。	3,10	プレゼンテーション	1,2学期	イ
Writing	W1 ☐	自分自身のことについて, 多様な語句や文を用いて, 書くことができる。	5	単元末テスト	2学期	ア
	W2 ☐	あるテーマについて, 自分の意見や主張などを多様な語句や文を用いて, 書いて伝えることができる。	4,9	単元末テスト	1,2学期	ア
	W3 ☐	日常的な話題や社会的な話題について, 複数の資料を活用しながら, 自分の考えや気持ちを多様な語句や文を用いて, 文章にまとめることができる。	12	エッセイライティング	3学期	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2025

R6	学校名:	錦江湾	高等学校	学校番号:	4
	科目名:	論理・表現Ⅲ		大学科:	理数科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4・5	1	SP	ア	PT	SP1□	GWの計画について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを発表できる。
	4・5	2	SP	ア	単元末テスト	SP1□	将来就きたい職業や理由について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを理由とともに発表できる。
	5・6	3	SP	イ	PT	SP2□	エコツーリズムに関して自分や他者の考えをまとめ、それを聞き手に分かりやすく伝えることができる。
	6・7	4	W	ア	単元末テスト	W1□	プレゼンテーション大会に関する要望などについて、自分の考えを読み手に分かりやすく伝えることができる。
2	8・9	5	W	イ	エッセイライティング	W2□	感謝や祝福などの気持ちについて、ペアでの話し合いを通して、自分たちの考えを読み手に分かりやすく伝えることができる。
	8・9	6	SI	ア	PT	SI1□	自分が置かれている状況や要望について、聞き手に分かりやすく伝えることができる。
	9・10	7	SP	イ	単元末テスト	SP2□	自分が得意な料理のレシピについて、いろいろなデータや情報をもとに、聞き手に分かりやすく発表することができる。
	9・10	8	SP	イ	PT	SP2□	自分が行きたい国について、理由を挙げながら、聞き手に分かりやすく発表することができる。
	10・11	9	W	イ	エッセイライティング	W3□	共働きの家庭について、長所と短所を含めて、自分の考えを読み手に分かりやすく伝えることができる。
	11・12	10	SP	イ	単元末テスト	SP3□	SNSについて、話し合ったり調べたりして考えをまとめ、プレゼンテーションソフトを使って、聞き手に分かりやすく伝えることができる。
3	1	11	SI	イ	PT	SI2□	介護ロボットについて自分の考えをまとめ、聞き手の関心を引くよう分かりやすく伝えることができる。
	2	12	SI	イ	ディベート	SI3□	ガソリン車の生産停止について、賛成派または反対派の立場から聞き手に分かりやすく説明することができる。

論理・表現Ⅲ 科目の目標

「や話し取り」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、課題を解決することができるよう、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張、課題の解決策などを、聞き手に説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。
「話し発表」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で書いて伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で書いて伝えることができるようにする。